

成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	効果的な治療を行ったり、患者の症状の改善を図るために医薬品等は不可欠なものである。その処方により診療報酬を請求することとなるため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	32751	34783	0	0
実 績	35246	36043	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	歯科治療を実施していくうえで医薬品等の購入費用は必要であるが、計画的な購入により適切な在庫管理を行なうことにより経費の節減に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	歯科診療を実施していくために、医薬品等の購入費用は必要であるが、計画的な購入により経費の節減に努める。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題